



Faradj & Monayoun

FARHADIAN

Carpets of Superior Quality

最高の素材と、精緻な紋様
本物だけがもつ品格がここに宿る

ファーハディアン・
プレミアムギャッベ

ギャッベは、カシュガイ女性が家族のために織る敷物
紋様に、結びに、幸せを願う思いがこもる



「ギャッベ」はイラン南部の山岳地帯で羊とともに遊牧生活を送る遊牧民、カシュガイ族の女性が、感性豊かなアート感覚で織り上げる草木染め手織り絨毯。卓越した色彩感覚とデザイン、初めて出会ったのに、なぜか懐かしささえ感じる不思議な魅力が、多くの人の心をとらえて離しません。

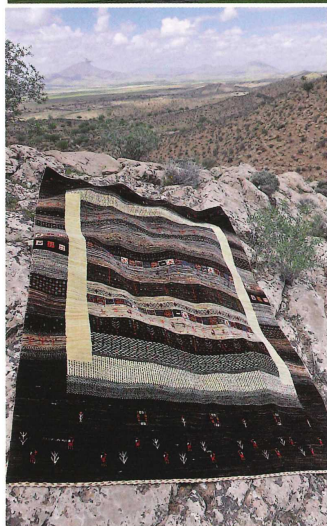
元々、大地に直接敷いて使う敷物のため、その上で過ごす家族に幸せが訪れるよう、また、災いがおこらぬように、家族への愛情を紋様にこめ、織り上げます。

現在は、政府の進める定住化政策もあり、遊牧生活を送る人々は減っていますが、女性が嫁ぐとき、自分の織ったギャッベを2〜3枚嫁入り道具とする伝統は、今も続いています。

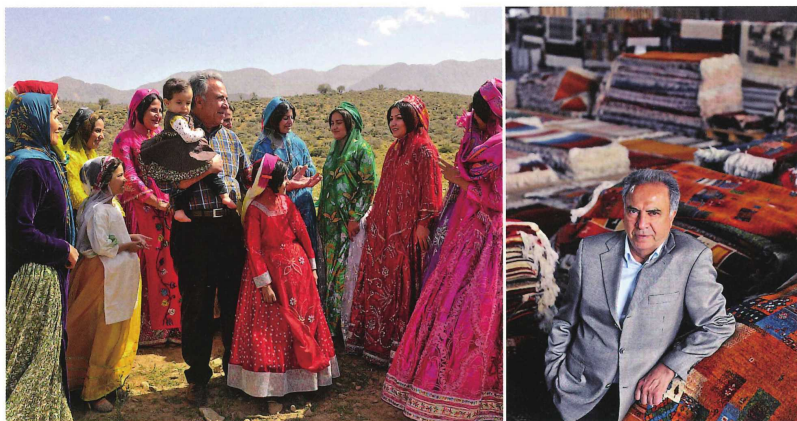
目にもとまらぬ速さで結び糸を縦糸にからませ、結んで切る熟練の技。その結びの一つ一つに、家族を思う織り手の心が宿ります。



ギャッベの故郷、ザクロスの峰々が染まる夕暮れ
雄大な自然を写して、ギャッベは生まれる



ファールハディアン当主・ファラジ氏。 織り手の誇りを尊重し、ギャツペ新世代を築く



カシユガイ遊牧民の生活民具として歴史を歩んできたギャツペ。素朴で粗々しい風合いのギャツペを、「糸・染め・織り」、その全てにおいて、「最高であること」を求め、世界基準で通用する新時代のギャツペへと高めてきたのが、ファールハディアンの当主、ファラジ氏です。

ファールハディアンの家系をたどれば、イラン西北部、堅牢なベルシャ絨毯の産地として有名なタブリーズにいきました。現当主のファラジ氏は、1965年イランからドイツに渡り、伝統的なタブリーズ絨毯を商っていました。その当時、世界中の絨毯の最高峰であるベルシャ絨毯に比べ、ギャツペはどちらかと言えば、格下の扱いでした。

しかし、ファラジ氏はそのギャツペのもつアート性に気づくと同時に、カシユガイ族の人々の素朴で正直な人間性に惹かれてい

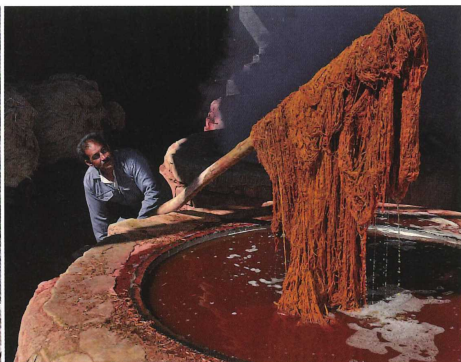
きます。

ファラジ氏が常々息子のホマイオン氏に語るのには、「どんなときにも正しい道を、誠実に歩んでいけ」という人生哲学。厳しい原野に生きながら、家族や仲間を大切に敬い、正直に生きるカシユガイの人々の姿に、ファラジ氏は本当の人間の豊かさを見たのです。

彼らが織るギャツペの価値を高めたい！ そんな思いから、これまでベルシャ絨毯で培ってきた「糸・染め・織り」のノウハウを伝授しました。息子のホマイオン氏とともに織り手の元を訪ねては、文字通り、手取り足取り、時には打ち込みのゆるさを指摘、時には模様バランスに言及し、ベストを目指す姿勢を示してきました。

「品質」にこだわるファールハディアンとカシユガイ遊牧民の伝統の技のコラボレーションで、「ファールハディアン・プレミアムギャツペ」が誕生しました。

絨毯のクオリティーを決める3つの要素、
「糸・染め・織り」



「ギャツペ」に限らず絨毯では、「糸」の良し悪しが、品質の大きな決め手。糸は細くしなやかなほど、上質な絨毯になります。ファーハディアンでは、主にクルデスタン地方の高地で放牧されている、脂質の多い上質な羊の毛を春に刈り取り、手紡ぎした糸を使います。

染色は茜、石榴、くるみなど天然染料を用いた草木染めです。染色では染料を単体で用いることはほとんど無く、ギャツペ5大色と呼ばれる「赤・黄・茶・青・緑」をミックスしてファーハディアンならではの染色を誇っています。

「染め」の最大の特徴は、手紡ぎした羊毛の糸を油抜きせずに使うこと。驚くほど大量の染料を使い、その煮えたぎっている釜に直接、糸を投げ込みます。油抜きしていない糸は染めが容易ではありませんから、長時間煮て染め上げるのです。釜から引き上げられた糸は水洗いし、天日干しに。標高1千5百メートルを超える高地、強い太陽の光を浴びて、力強い糸が生まれるのです。

ギャッベは織り上がってからが勝負
ファーハディアン神髓「洗い」と「メンテナンス」



ギャッベはカシユガイ遊牧民が織り上げて、それで完成ではありません。イラン南西部のシラーズ周辺から集荷されたギャッベは、トラックでテヘランに運ばれ、自社工場ですべて「洗い」と「仕上げ」にかかります。

ファーハディアンは、ベルシャ絨毯を扱っている時代から「洗いのファーハディン」と呼ばれるほど、洗いの技術の高さを評価されていました。

トラックから降ろされた砂だらけのギャッベは巨大な回転ドラムの中で砂を落とし、次に裏側の無駄な毛をガスバーナーで焼き切って、洗いの工程に移ります。

最初に水洗い、次にウール洗剤を使ったマシーン洗い、さらに農具のクワのような道具を使い、人力で丁寧に洗っていきます。洗い終わったら、戸外に干して乾燥させ、再び洗い。これを4度繰り返します。匂いもとれ、遊び毛が落ち、光沢をもたります。洗い。「ファーハディアンが洗った物なら買う」と評判がたつのも、うなずけます。

LoriAtash (ロリ・アタッシュ)

40 ~ 45 knots/10cm

ファーハディアン・ギャツベの最上級クラスです。織り手の中でも技術の優れたロリ族によって主に織られています。最高級の羊毛の細い糸を高密度に織ることによって生まれる繊細なグラデーションと、しっかりとした手触り、美しい光沢感と深い色合いが魅力です。シンプルなデザインが、スタイリッシュでモダン! 家の格を上げる逸品です。

Lori Nowbaft (ロリ・ナウバフト)

37 ~ 40 knots/10cm

Lori Tabiebaft (ロリ・タビーバフト)

35 ~ 40 knots/10cm

織り技術の優れたロリ族が織っているという称号を与えられた品質です。タビーバフトは、無染色の羊の原毛色を中心に織られており、遊牧民に伝わるモチーフを中心にギャツベの魅力を上質に表現したクオリティです。ナウバフトのほうは、遊牧の原風景を繊細な織りで見事に表現しています。

Rizbaft Tajik (リーズバフト・タジック)

30 ~ 38 knots/10cm

Rizbaftとは、ペルシア語で「美しい結び」という意味の言葉です。最高級の羊毛だけを使用した艶やかで繊細な質感。細かい織りでこそ可能な、繊細なモチーフや、独特のパッチワークデザインなど、ファーハディアン・ギャツベの魅力を堪能できるプレミアムクオリティです。

Kashkuli Banafsheh (カシュクリ・バナフシェ)

28 ~ 32 knots/10cm

Kashkuli Shuli (カシュクリ・シュリ)

25 ~ 30 knots/10cm

遊牧民カシュガイ族の中のカシュクリ族からきた呼称です。ざっくりした肌触りの中にも上質感を感じるクオリティ。手紡ぎの糸を草木染めしたことで生まれる、色の濃淡の美しさを使ったグラデーション。その中に遊牧の生活のさまざまなモチーフがあしらわれたデザインは、まさにギャツベの魅力そのものです。

Kashkuliの中でも、Farhadian家の長女の名前バナフシェを冠した「カシュクリ・バナフシェ」は、上質感のある一押しの品質です。

Nomad (ノマド)

20 ~ 25 knots/10cm

ノマドとは遊牧民という意味です。ギャツベ本来のざっくりした感触とボリューム感、ナチュラルなイメージが魅力です。おおらかに描かれた遊牧民特有のかわいらしいデザインをお楽しみいただけます。ログハウスやコテージなど、ウッディな空間のコーディネートや、ファーストギャツベにお薦めです。



※手織りのため、結びの数(ノット数)は1枚ずつ違います。おおよその目安を示しています。



メンテナンスのスタッフに細やかな指導をする
ファラジ氏(写真左)と、現社長のホマイオン氏(中)。

こうした徹底した品質管理のもと、日本にやってくるファーハディアン・ギャツベ。家族の宝となり、家の繁栄をもたらす財産となる絨毯です。

メンテナンス部門に足を踏み入れると、まず隅々まで整理整頓され、清潔に保たれた空間に、身が引き締まります。ペルシア絨毯での妥協を許さぬ経験が、ギャツベにも適用され、絨毯のたるみや曲がりを徹底的に修復する努力が重ねられています。職人たちの集中力も高く、柔らかな緊張感に満ちた空間です。

普段のお手入れについて

✦ 普段のお掃除は、掃除機で。

「打ち込み、洗い」がしっかりなされたファーハディアン・ギャッベ。普段は、掃除機をかけるだけで十分。そうきんなどでの拭き掃除もあまり必要ありません。

もし、お茶やジュースなどをこぼしたときは、すぐに固く絞った雑巾でやさしくたたきように、液体を吸い取ってください。油を抜かず染めたギャッベの糸は、液体をはじくくらいです。

使えば使うほど、踏めば踏むほど、光沢が生まれ、色合いもよくなってくるのが、品質のよい絨毯の本来の姿です。

✦ 強い染色が特徴です。 色落ちや日焼けも味のひとつです。

大量の染料を使って染め上げた糸、洗いのあとの強い直射日光による天日干し。ギャッベの染めは、私たち日本人の常識をこえた強さをもっています。そのため、色落ちや日焼けにも強いのが特徴です。10年、20年と時を経て、少しずつ、色が落ちついてくる変化をお楽しみください。

✦ 1年中楽しめる絨毯です。 冬は暖かく、夏は爽やかです。

ファーハディアン・ギャッベは、羊毛100%、しかも全て手紡ぎの糸を使って織られています。手紡ぎの糸は「縮れ」で凹凸があるために、羊毛そのものにたくさんの空気を含み、絨毯に空気の層ができるのです。そのため、冬は外部の冷たい空気を遮断して暖かく、夏は反対に暑さをふせいでくれます。

化学繊維の敷物では決して得ることのできない快適な感触を、1年中お楽しみください。

✦ クリーニングは10年という単位で

季節ごとにクリーニングに出す必要はありません。10年という単位で汚れが目立つようであれば、絨毯の専門の業者にクリーニングをお願いしましょう。ご自分で洗ったり、絨毯を専門としないクリーニング業者に出すことはお勧めできません。当社にご相談ください。



(左)ファーハディアン社社長 Homayoun Farhadian
(右)メイワインターナショナル社長 檀崎俊也

1枚のギャッベが完成するまでには、羊を飼う人、糸を紡ぐ人、染める人、デザインする人、織る人と、たくさんの人が携わっています。その全ての工程でベストを尽くしたギャッベの頂点 *Premium* (プレミアム) を、私たちは誇りをもってお届けいたします。

Homayoun Farhadian

日本総代理店 株式会社メイワインターナショナル
本社：神戸市東灘区向洋町中6-9、KFMビル 5W-08

『ファーハディアン・
プレミアムギャッベ』
オフィシャルガイドブック

編集制作・デザイン：WILL
撮影：向村春樹 (WILL)